

# 加入光ファイバの接続料について

---

**2011年2月22日**

イー・アクセス株式会社  
イー・モバイル株式会社

# FTTHの利用率30%を向上

→ 設備競争からサービス競争へのシフト

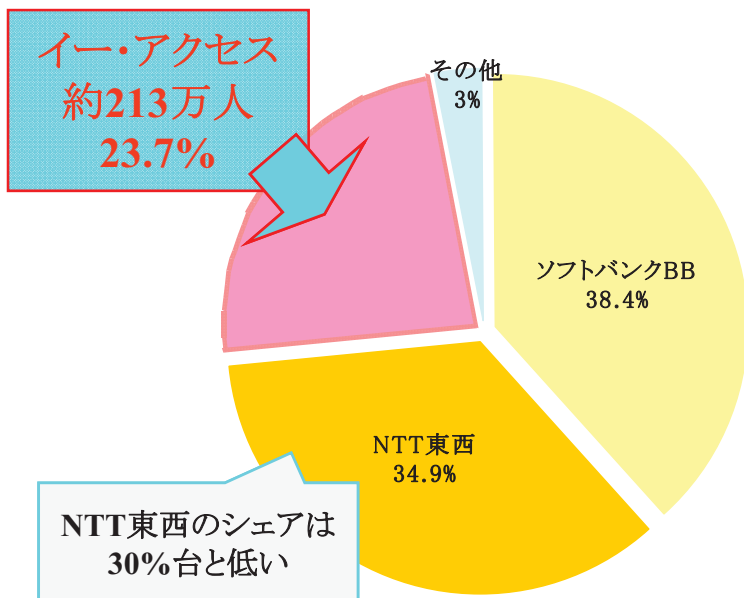
→ 加入光ファイバ接続料の低廉化

→ 光アクセスのファイバーシェアリング

# 1. サービス競争の成功例

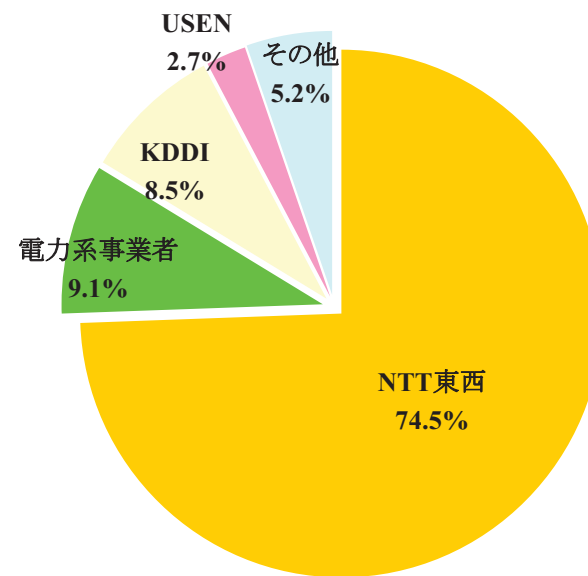
ADSLは、フェアなサービス競争で、世界で最も速くて安いサービスを実現

## ADSLシェア (約900万契約)



新規参入(イー・アクセス、ヤフー)が市場を牽引

## FTTHシェア (約1,900万契約)



NTT東西殿を中心にしたインフラ競争

出所:総務省(2010年9月末時点)

## 2. ADSLの成功要因

FTTHでも設備競争からサービス競争を推進する政策へシフト

徹底したネットワークのオープン化で、コストが低廉化



### 3. 加入光ファイバ接続料の低廉化

接続料水準をPSTN並みにするためには、1分岐単位の接続料が必要

#### ADSLの接続料(月額)

ラインシェアリング

1回線 ¥77

ドライカップ

1回線 ¥1,272

#### FTTHの接続料(月額)

シングルスター方式

1回線 ¥4,194

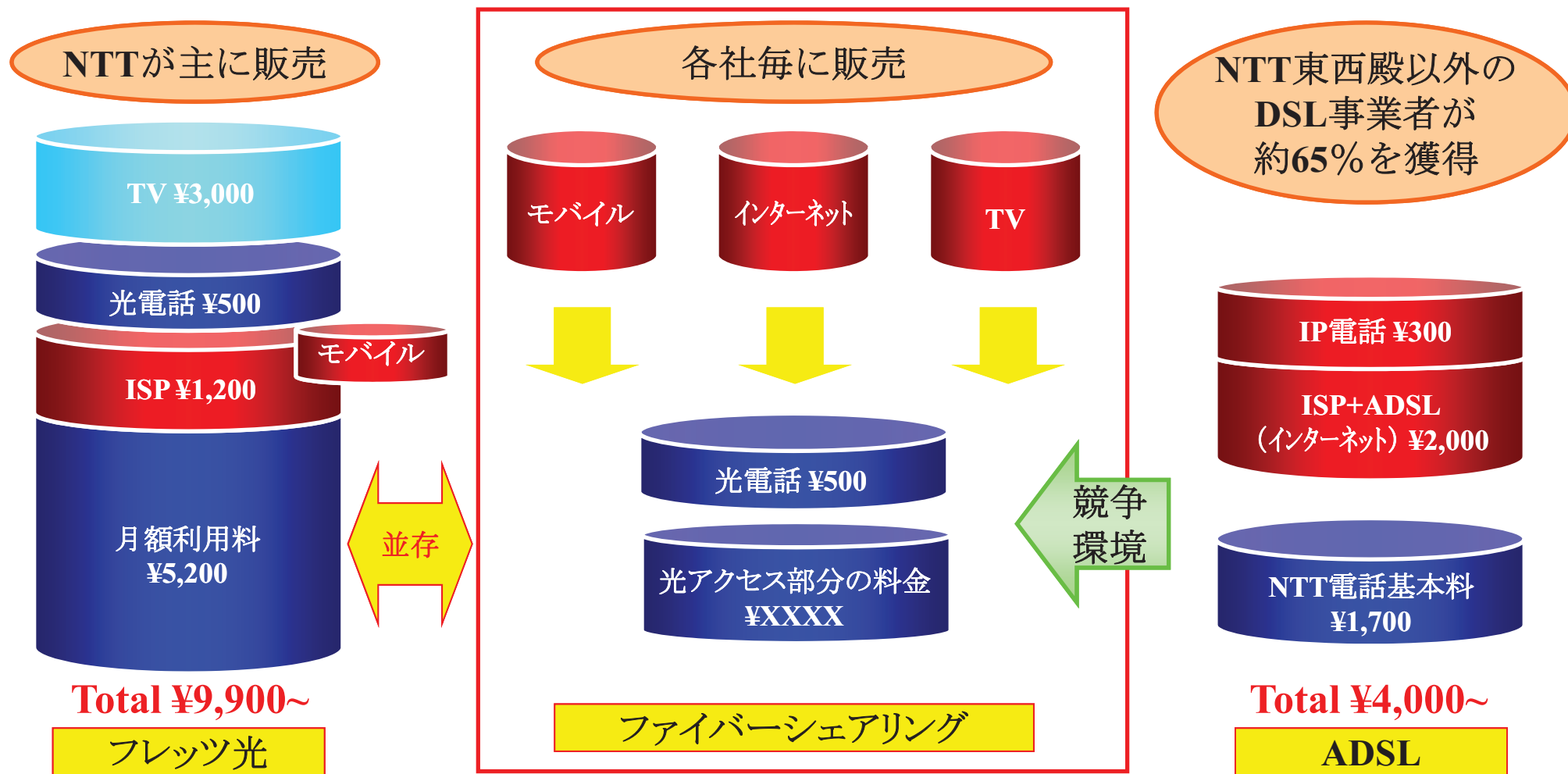
シェアドアクセス方式

32分岐中1回線 ¥7,298

1分岐単位とし、1,500円を目途

# 4. 分岐回線単位でのサービスモデル

エンドエンドでの料金設定を可能とし、ファイバーシェアリングも実現



※光アクセス部分の料金は、いずれかのサービスで回収

出所:NTT東ホームページ フレッツ光ネクストファミリー・ハイスピードタイプ、ISP料金:OCN、TV料金:ひかりTV テレビおすすめプラン

## 5. ファイバーシェアリングのメリット

利用者の選択肢がひろがり、FTTHの利活用にも効果的

光にしようかしら♪



利用シーンに応じて  
選びやすいね♪

それぞれ選択

イー・アクセス



インターネット

NTT東西



光電話



TV

サービス/料金面で、メタルユーザのFTTH移行インセンティブが向上

# 【事例】 BT\_OPENREACH

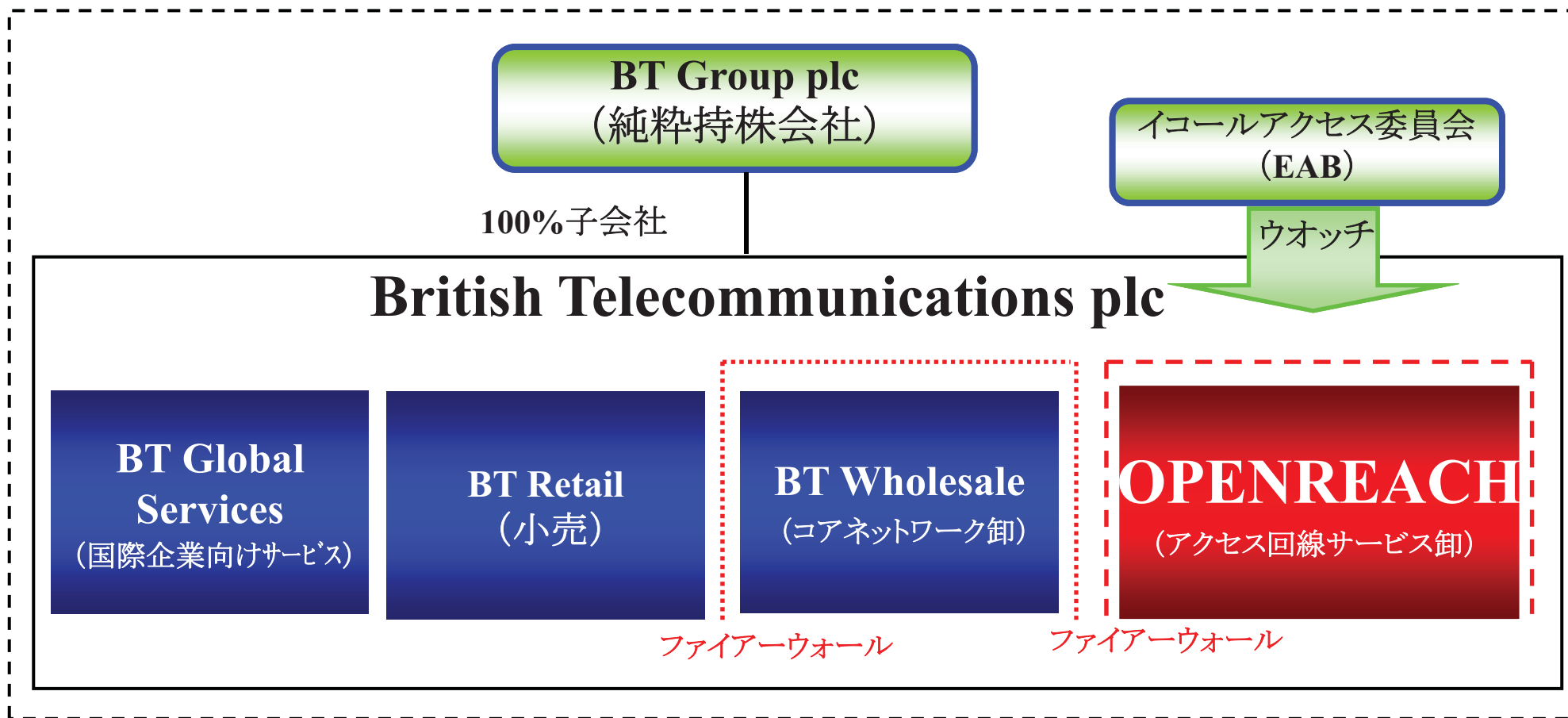


# 1. BT\_OPENREACHの組織構造



2006年1月、アクセス回線サービスを提供する部門(=OPENREACH)を設立

## BTグループ

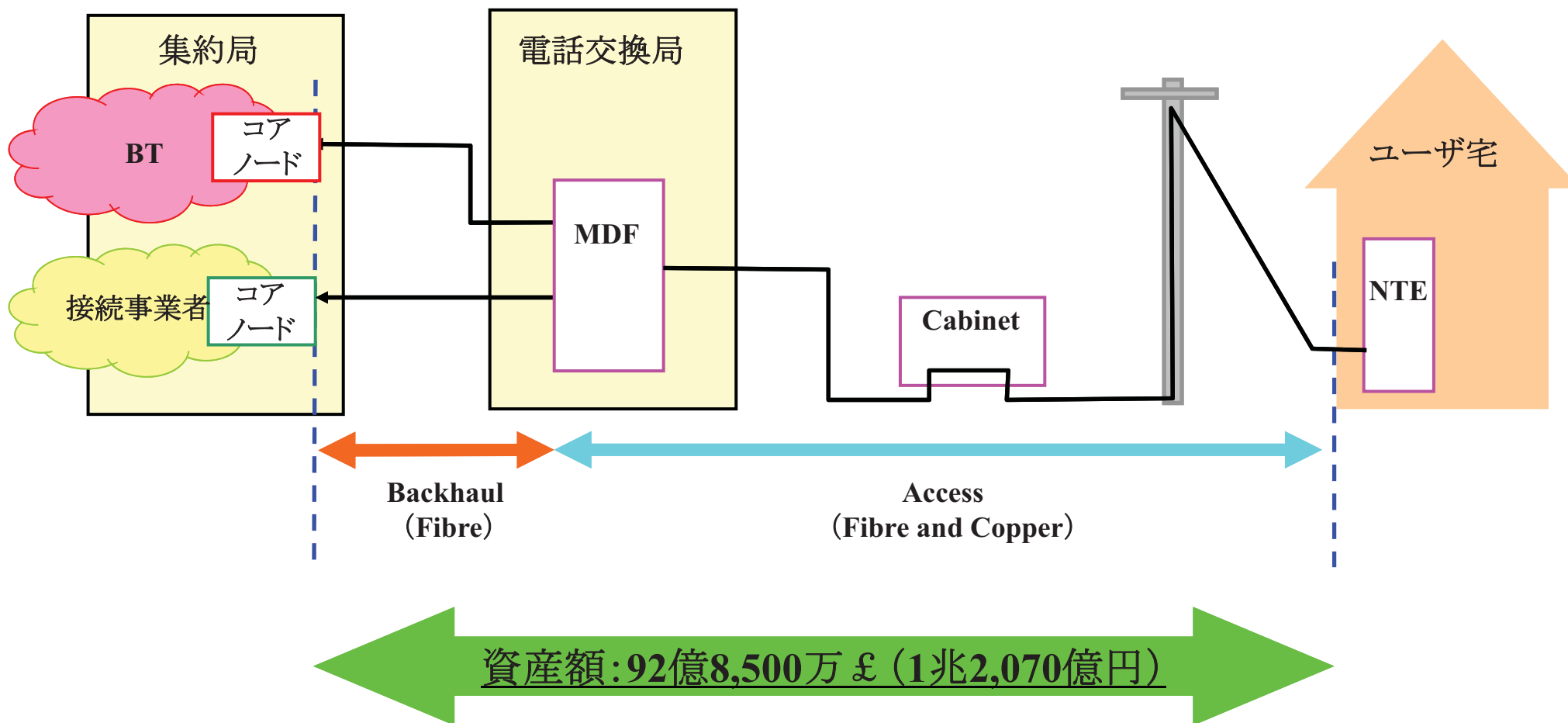


出所:総務省資料

## 2. BT\_OPENREACHの資産

OPENREACHは、Backhaulとアクセス部分のNWを所有

### 【資産範囲】



出所: BT\_OPENREACH ホームページ 1£あたり、130円で換算

2015年までにカバー率66%を目指し、ホールセールメニューを提供

## Super-fast Fibre Access

### FTTP (Fibre to the Premises)

シェアドアクセス方式

### FTTC (Fibre to the Cabinet)

光ファイバとVDSL

Generic Ethernet  
Access

インターネット

Fibre Integrated  
Reception System

放送

Fibre Voice  
Access

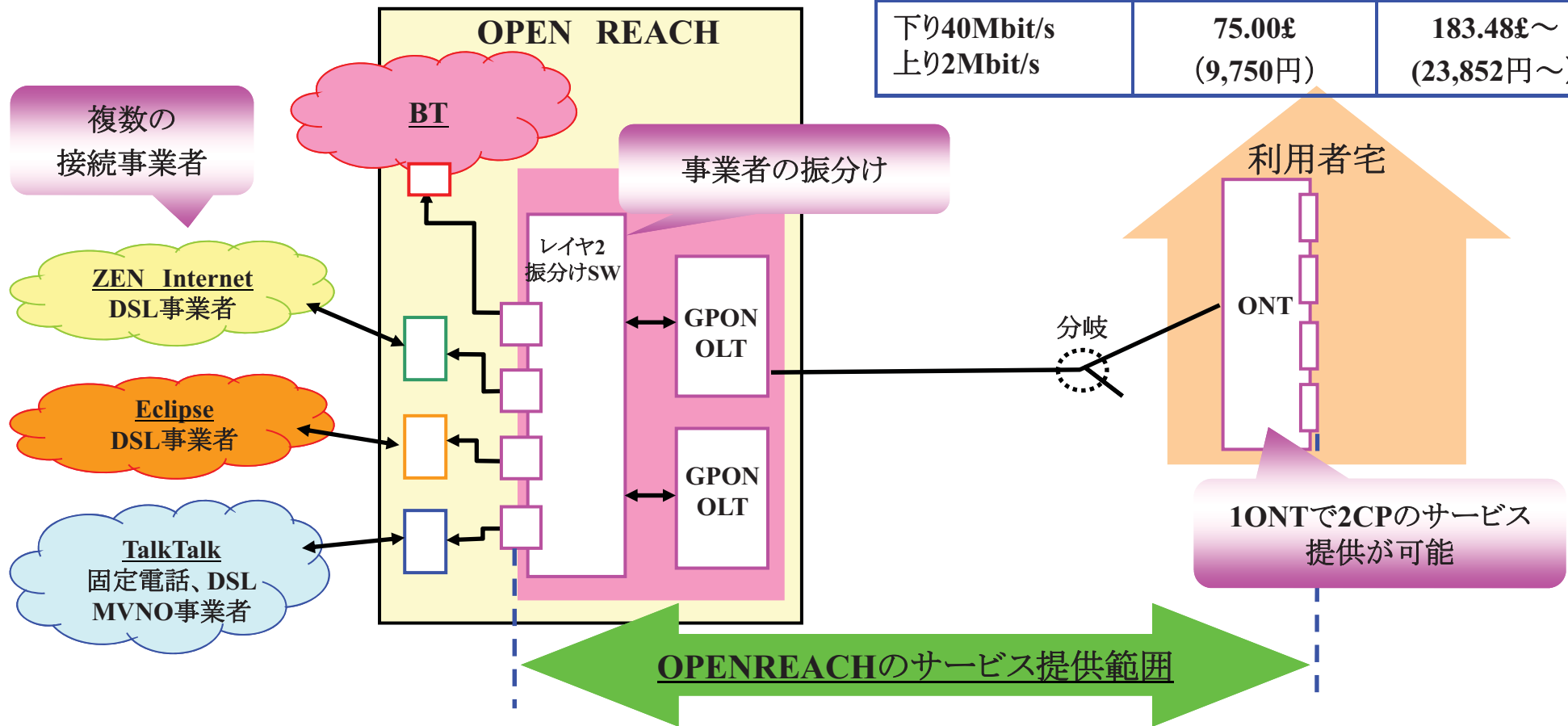
音声※現在はアナログ

# 4. BT\_OPENREACH\_FTTP

FTTPでは、シェアドアクセスを1回線単位で提供

## FTTP (Fibre to the Premises)

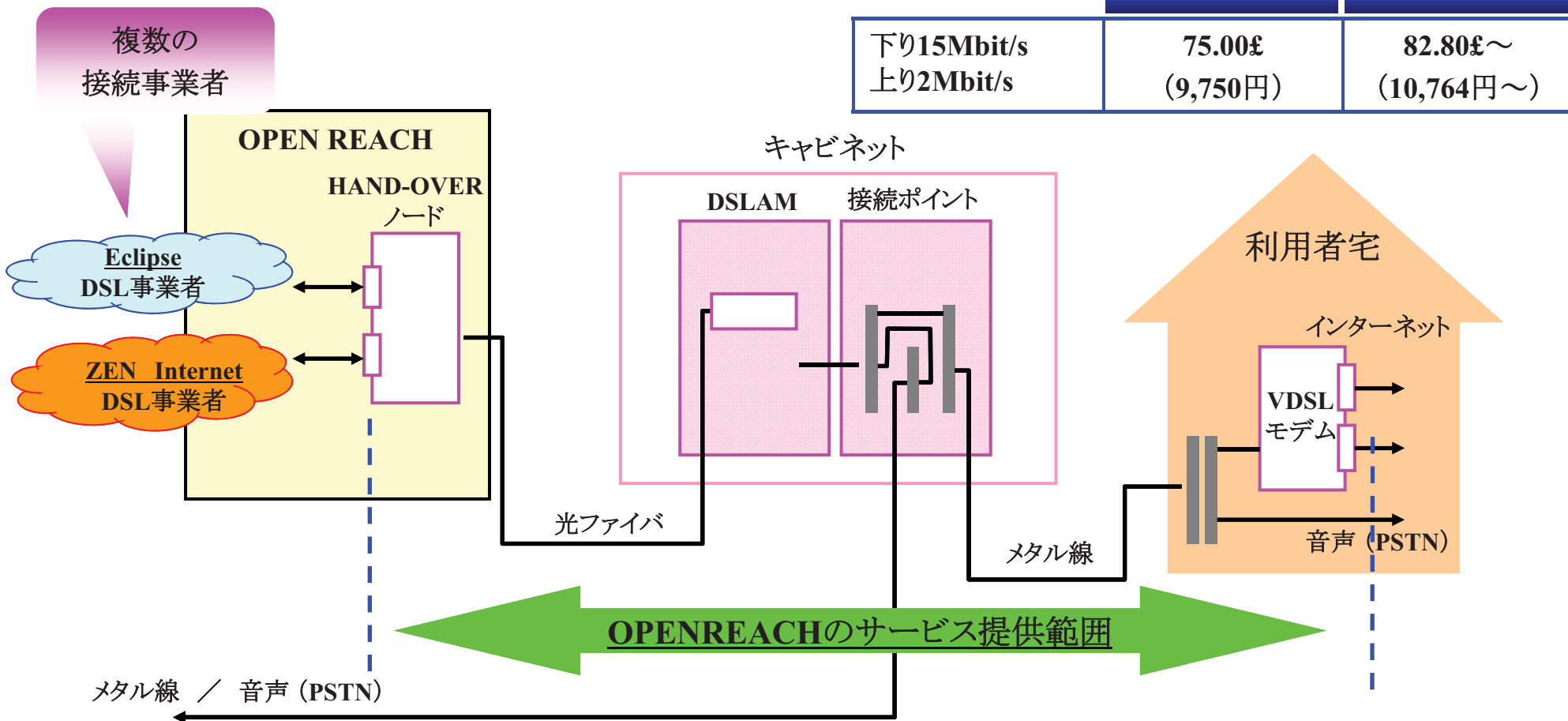
	工事費	年間利用料
下り40Mbit/s 上り2Mbit/s	75.00£ (9,750円)	183.48£~ (23,852円~)



出所: BT\_OPENREACH ホームページ

FTTCでは、VDSL回線単位で提供

## FTTC (Fibre to the Cabinet)



	工事費	年間利用料
下り15Mbit/s 上り2Mbit/s	75.00£ (9,750円)	82.80£~ (10,764円~)

# 検討項目

乖離額  
調整制度

NTT東西殿が有利なルール  
化には、課題※が多く反対

※補足資料にて

利用者料金と  
接続料の関係

NTT東西殿と接続事業者の  
公平性を確保

導入時期

2011年度中を目途に検討

# まとめ



分岐単位の接続料とファイバーシェアリングを  
実現することで、FTTHの利活用を推進

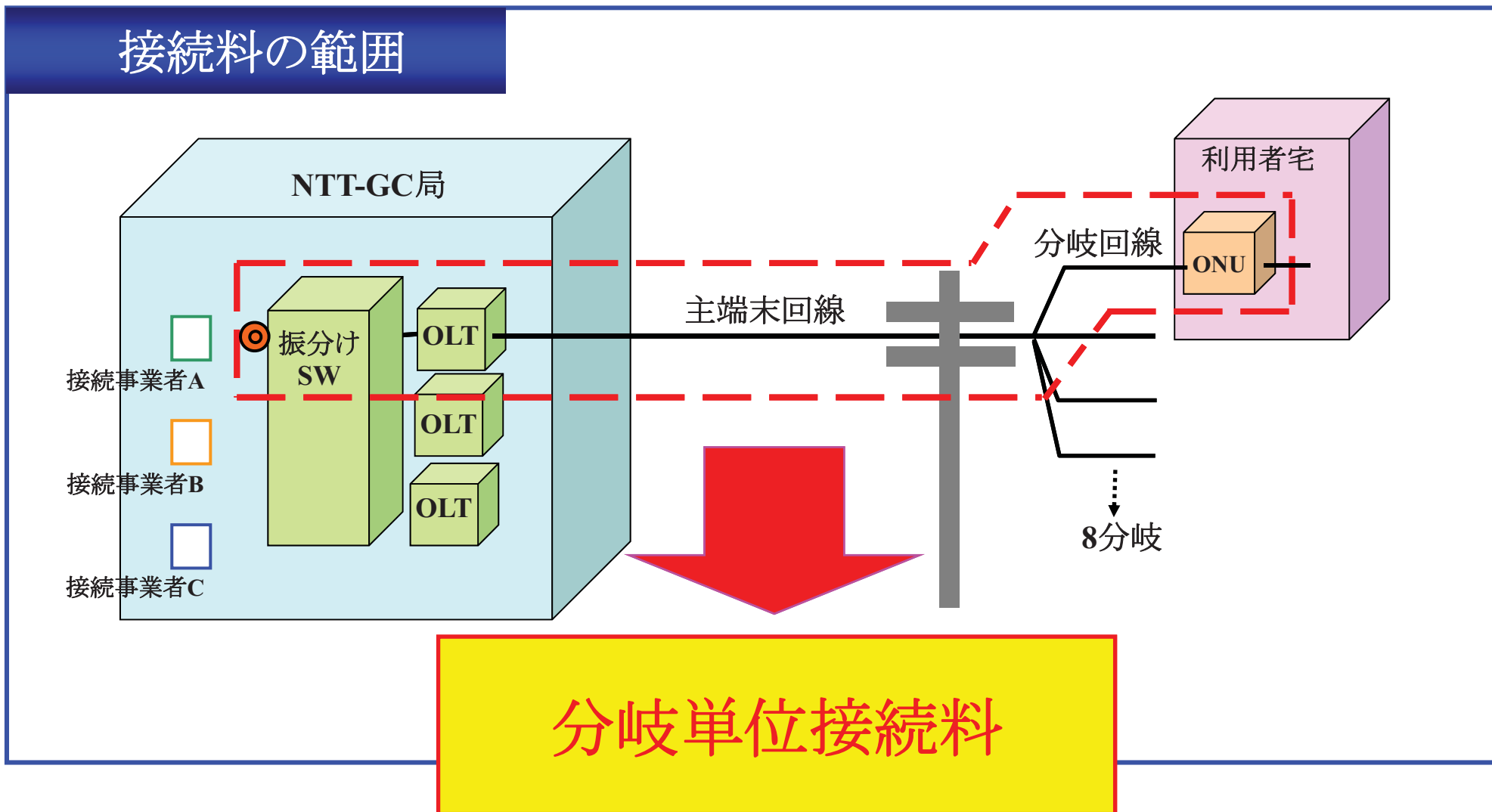
メタル上でのフェアな競争を、  
光アクセスでも実現

## 補足資料

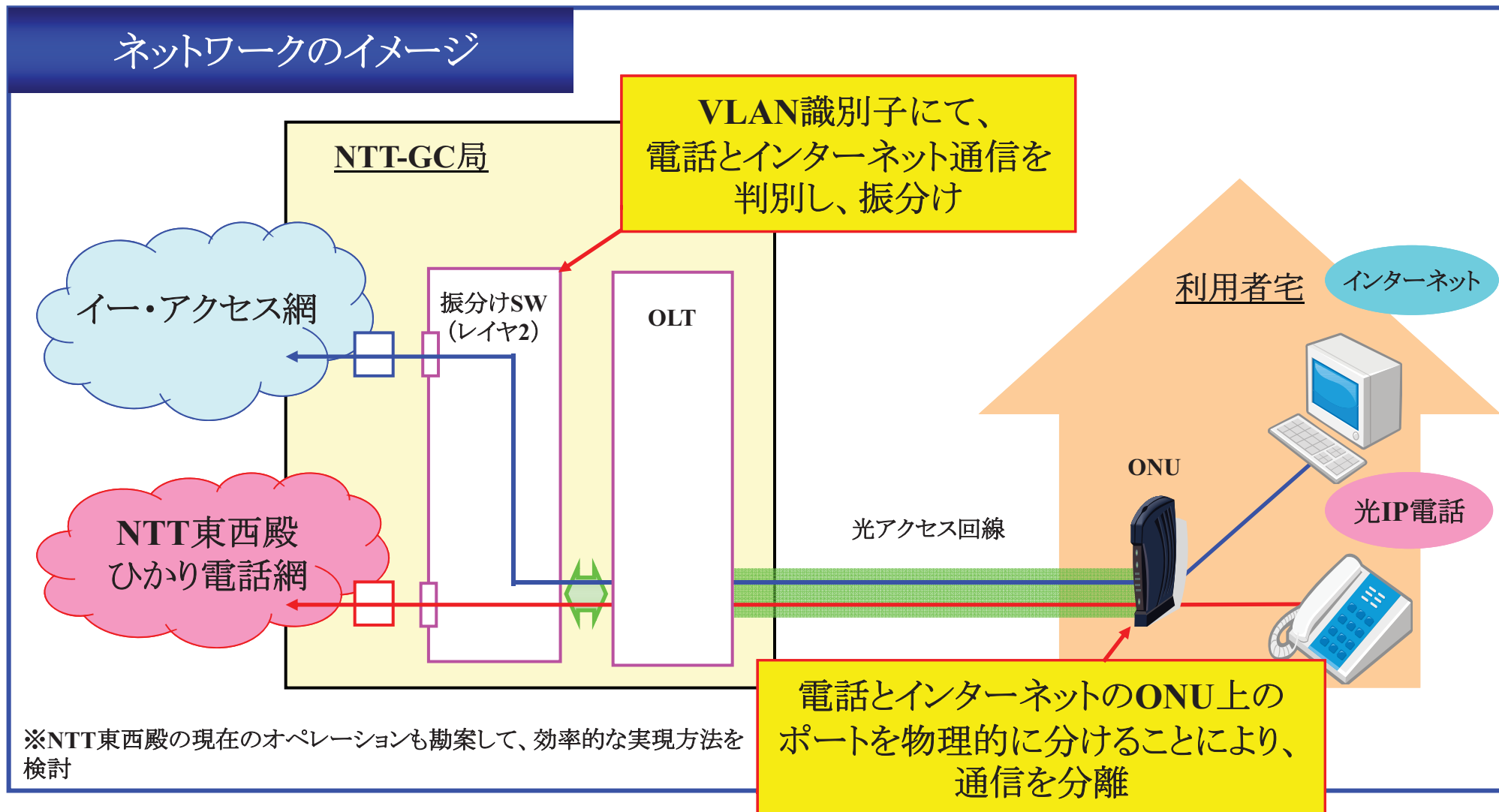
- ✓ 接続イメージ\_分岐単位接続料の考え方
- ✓ 接続イメージ\_光アクセスのファイバーシェアリング
- ✓ BT\_OPENREACHの料金
- ✓ 乖離額調整制度の課題

## 1利用者単位の価格とし、接続料を設定

### 接続料の範囲



## 既存技術の活用で、ファイバーシェアリングは可能



## 【FTTP】

メニュー	工事費	年間利用料
下り40Mbit/s、上り2Mbit/s	75.00£ (9,750円)	183.48£ (23,852円)
下り40Mbit/s、上り10Mbit/s	75.00£ (9,750円)	189.48£ (24,632円)
下り40Mbit/s、上り15Mbit/s	75.00£ (9,750円)	220.08£ (28,610円)
下り100Mbit/s、上り15Mbit/s	75.00£ (9,750円)	255.48£ (33,212円)
下り100Mbit/s、上り30Mbit/s	75.00£ (9,750円)	537.00£ (69,810円)

## 【FTTC】

メニュー	工事費	年間利用料
下り15Mbit/s、上り2Mbit/s	75.00£ (9,750円)	82.80£ (10,764円)
下り40Mbit/s、上り2Mbit/s	75.00£ (9,750円)	82.80£ (10,764円)
下り40Mbit/s、 上り2Mbit~10Mbit/s	75.00£ (9,750円)	88.80£ (11,544円)
下り40Mbit/s、 上り10Mbit~15Mbit/s	75.00£ (9,750円)	119.40£ (15,522円)

## 【その他工事費（抜粋）】

※各工事メニューについて細かく料金が設定

メニュー	工事費
接続事業者の変更	50.00 £ (6,500円)
速度変更	10.00£ (1,300円)
VDSLモデムの交換	26.00£ (3,380円)
ONTの交換	69.50£ (9,035円)

出所: BT\_OPENREACH ホームページ 1£あたり、130円で換算

## 予見可能性

乖離額による接続料の負担増は、接続事業者の経営上の不安定要因

## コスト削減 インセンティブ

コスト回収が容易に可能になるため、NTT東西殿の効率的な業務運営を行うインセンティブが低下

将来予測の分析や乖離要因を検証した上で、調整の要否を判断

---

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これをできない場合があります。

---